

講演 2 共同意思決定 (SDM) の具体的な実践方法

高齢化が進み、非感染性疾患 (NCD) が問題となっている現在、医療の目的は「疾患の治癒、寿命の延長」から「患者が望むように生き、幸福でいられるよう支援すること」へと変化しています。こうした中、医療者は患者中心志向の概念の下に、根拠に基づく医療 (EBM)、共同意思決定 (SDM) をよりよく進めることが求められています。本講演では、SDMが重視されるようになった背景とその実践方法について概説します。

キーワード

共同意思決定 (SDM)、科学的根拠に基づく医療 (EBM)、患者中心志向、アドバンス・ケア・プランニング、インフォームド・コンセント (IC)、患者参加型医療



こまつ やすひろ
小松 康宏

群馬大学大学院医学系研究科
医療の質・安全学講座 教授

語句解説

講演 1

講演 2

講演 3

講演 4

講演を
終えて

最新
トピックス

徒然なる
ままに。